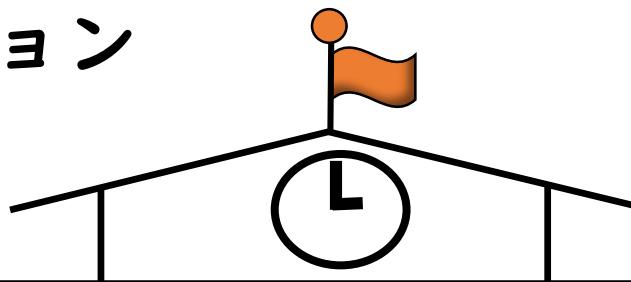


👍 なぜ授業イノベーション？

👍 具体的な姿は？

👍 教科のとびら



<解説動画>



これからの社会を生き抜くための確かな学びに向かう子ども

「令和7年度 長岡市学校教育の共通実践事項」より

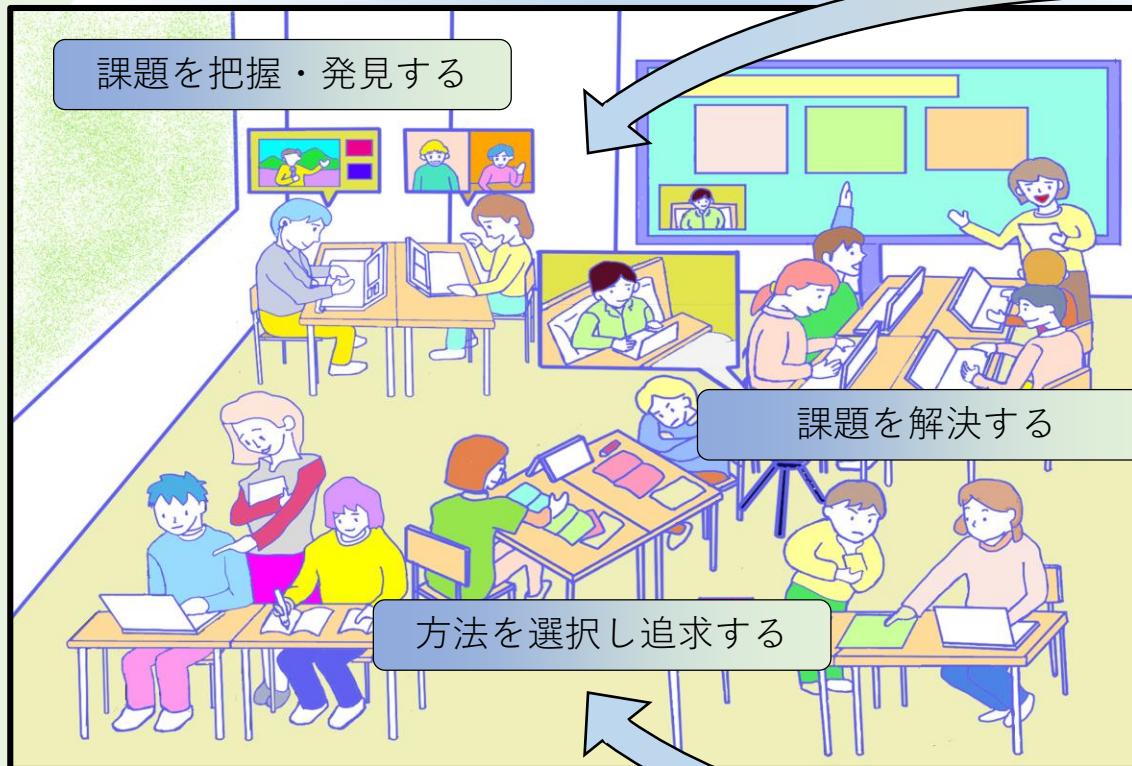
「自分」に合った学び

子どもの学びの質の向上

多様な関わりを生かす学び

地域・社会
世界での学び

地域・社会
世界での学び



長岡教育情報プラットフォーム /



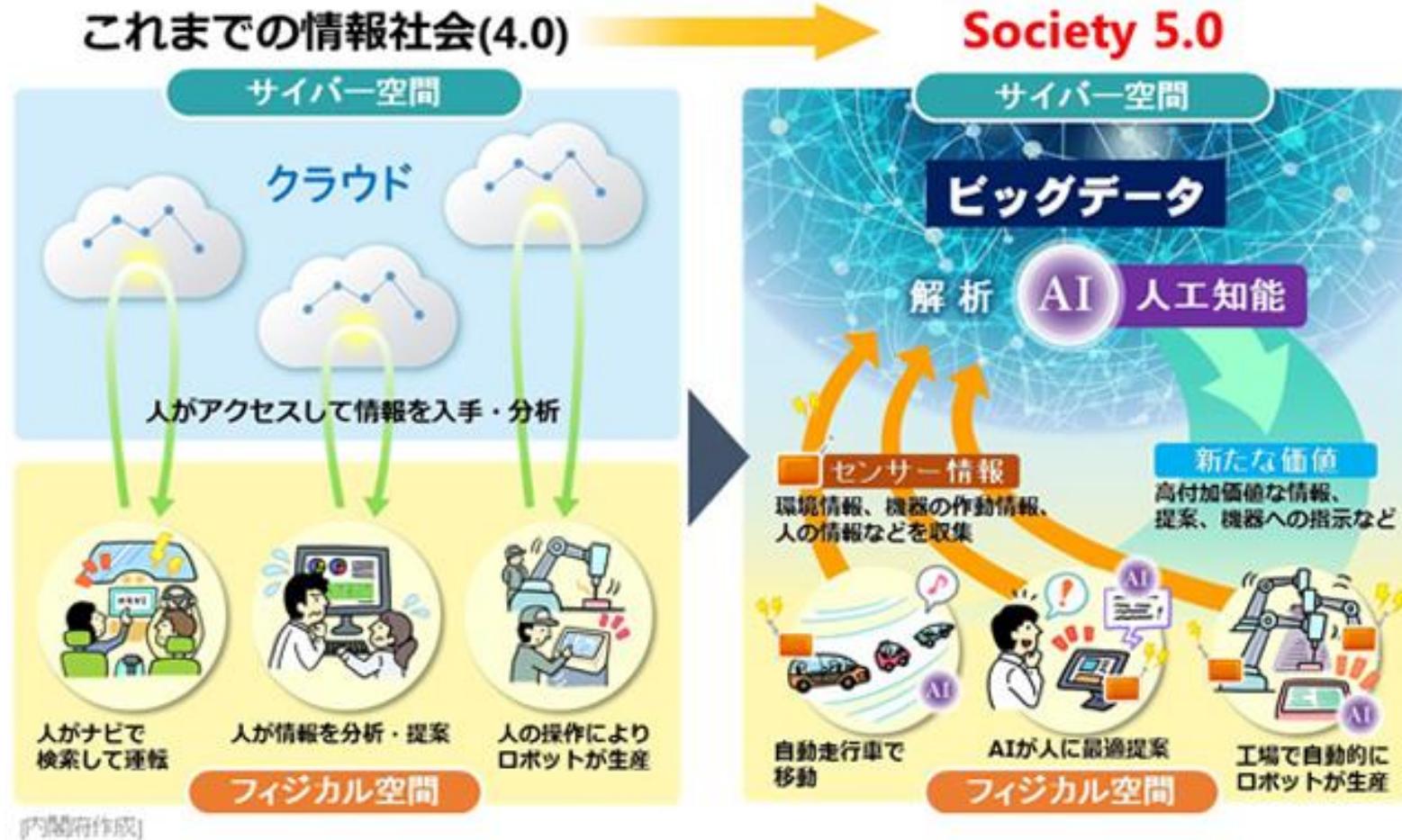
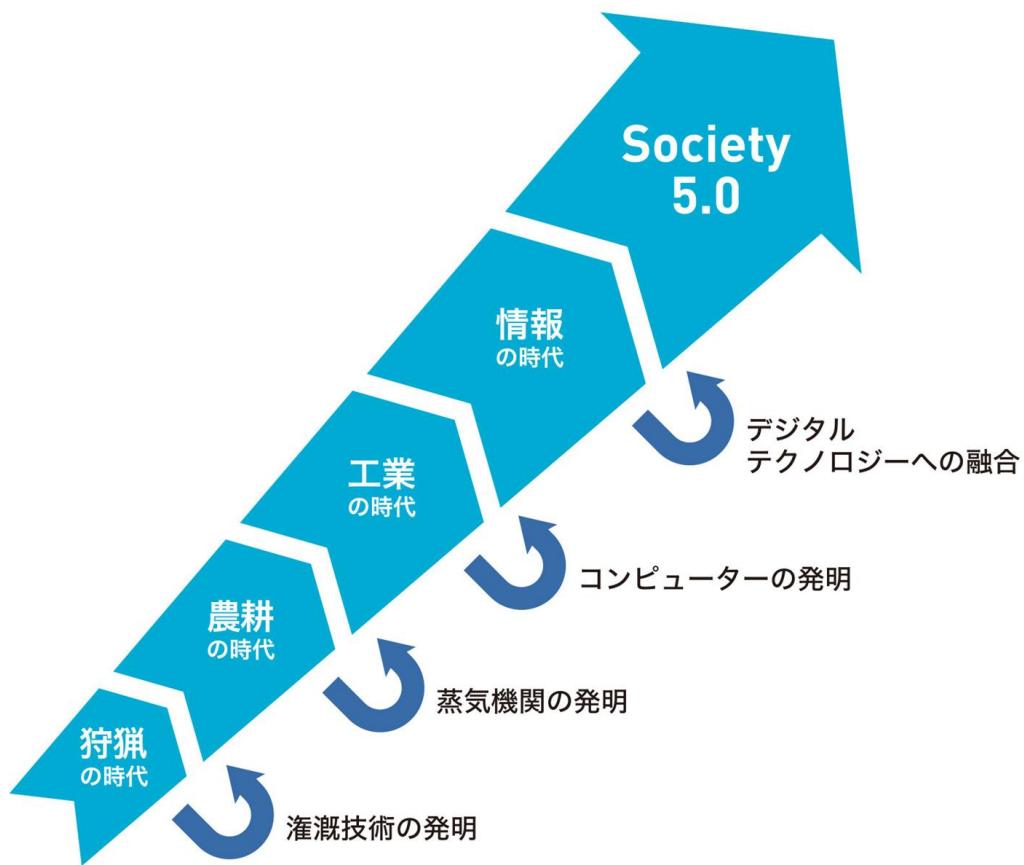
実体験を伴う活動的な学び

長岡教育情報プラットフォーム /



新しい米百俵 熱中！感動！夢づくり教育事業

なぜ 授業をイノベーション(革新)する必要があるのか



社会が大きく変わろうとしているのだから、
教育だって変わらないといけない

なぜ 授業をイノベーション(革新)する必要があるのか



Volatility 変動	変化の量や質が大きく スピードも速い
Uncertainty 不確実	これから起こる事柄が 予測できない
Complexity 複雑	数多くの要因が複雑に 絡み合っている
Ambiguity 曖昧	物事の原因や因果関係 が不明瞭である

VUCA時代

- 「お手本」のない時代
- 適当な選択肢が見つからなければ、新たな選
択肢を創造する力が必要
- どのような社会になったとしても、その時々で何
とかするしかない
- 大人になっても学び続けなければいけない
- 子どものうちに学び方を学ぶ必要がある

正解すること ≠ ゴール



なぜ 授業をイノベーション(革新)する必要があるのか

VUCA時代に求められる力

- ・情報を収集する力・処理する力
- ・迅速に意思決定する力
- ・臨機応変に対応する力
- ・円滑なコミュニケーションを取る力
- ・自ら課題を解決する力
- ・新たな価値を創出する力

(参考)すららが考える教育の未来
<https://surala.jp/school/future/list/2288/>

Volatility 変動	変化の量や質が大きく スピードも速い
Uncertainty 不確実	これから起こる事柄が 予測できない
Complexity 複雑	数多くの要因が複雑に 絡み合っている
Ambiguity 曖昧	物事の原因や因果関係 が不明瞭である



このスタイルだけの授業で育ちますか？



なぜ 授業をイノベーション(革新)する必要があるのか

不登校状況調査(R5.11実施)から

【結果】

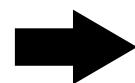
- (1) 小学校3年、4年で急増 「10歳の壁」
- (2) 中学校1年、2年でさらに急増 「中1ギャップ」



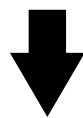
【背景や要因】 (1)(2)いずれも

第1位:友人関係

第2位:学業不振(つまづき)



- ・学習でつまづかない
- ・つまづきをとりもどす
- ・自信をもつ
- ・より良い人間関係を築くこと

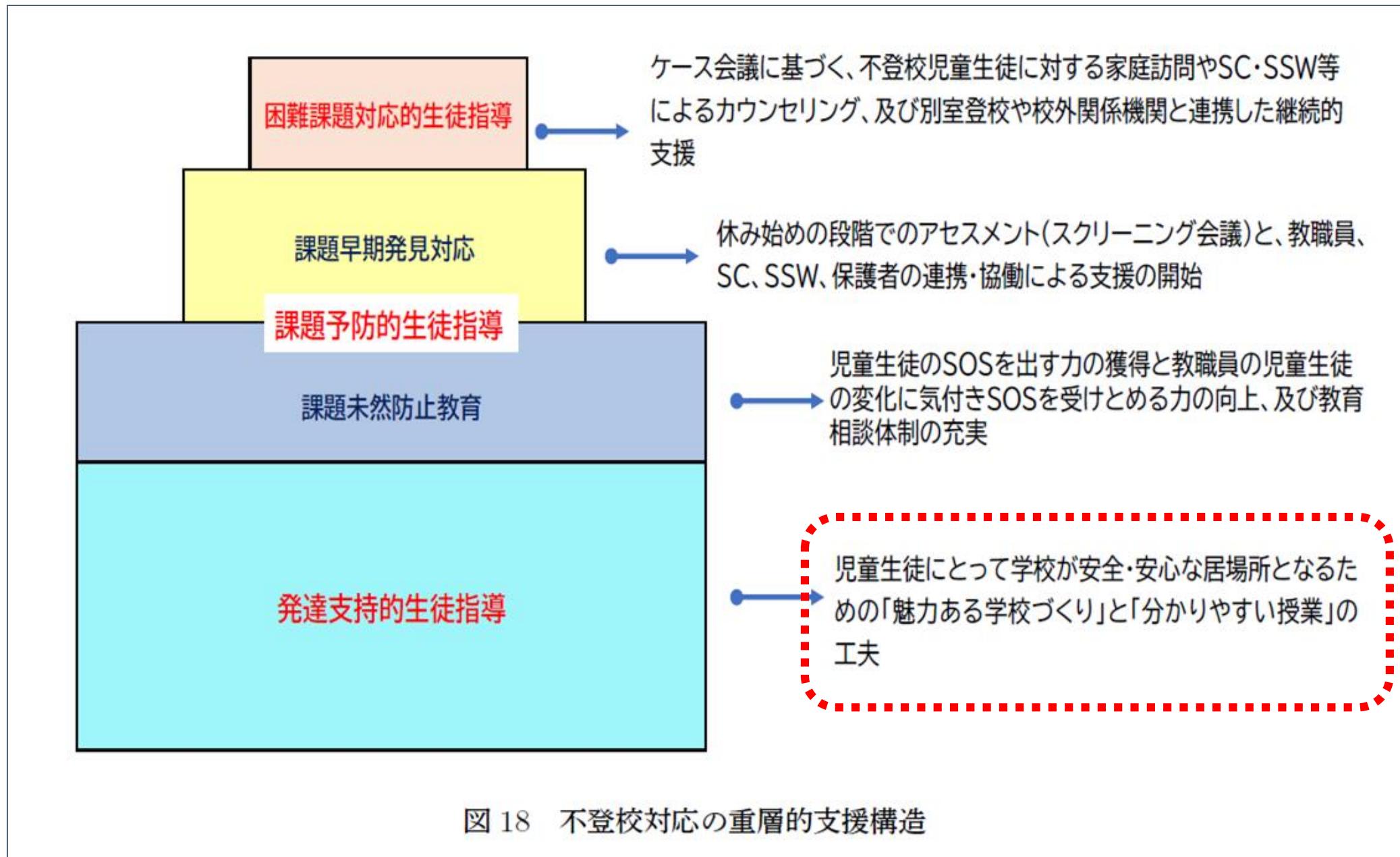


【未然防止のため必要なこと!】 特に(1)(2)の学年で!

「自分」に合った学び、多様なかかわりを生かす学び、
実体験を伴う活動的な学びを充実させること

なぜ 授業をイノベーション(革新)する必要があるのか

不登校未然防止に有効



生徒指導提要

令和4年12月

文部科学省

文部科学省

[生徒指導提要\(改訂版\)文部科学省](#)



「自分」に合った学びの視点

子どもが自ら動きたくなるような課題を！

☆課題の内容や目標設定の選択
難易度や進度、量

→ 計画表、学習の手引きを作ろう

☆場の選択

どこで課題を行うか。(学び方の選択に関連)

☆調査方法の選択

本、インターネット、インタビュー、実験等

☆学び方の選択

・ペア、グループ or 自分で
他の人の学ぶ様子を見に行ける

☆情報量の選択

その子にとって処理できる最大量(情報の量は自分で調節)

☆思考手段の選択

付箋、思考ツール等の選択

☆最適解、納得解の選択

複数の解決方法がある中で自分に合った答えを選択

☆表現方法の選択

・ICT、画用紙等アウトプットの方法



「自分」に合った学び

子どもが選択できる場面、子どもに委ねる場面を増やしましょう。



多様な関わりを生かす学びの視点

教師からの指示での対話
だけでなく、子どもたちから
自然と話したくなる課題づ
くりを!

☆各自が必要感や目的意識をもち議論する

☆不完全でも子どもが必要感をもった対話(ためらいがち、つぶやきでもOK)

☆考えのズレをもとに対話する関わり

☆分からなさど、分かっていく過程を共有
をする(つまずきを想定する)

☆多様な意見を認め、自分の考
えを振り返り、深める関わり

☆振り返りの場面で記述前に
ペアなどで対話する関わり

相互理解のための「対話」が大切。
自分のしたことやその手順だけを発表
し合うのではなく、自分がどう考えた
のか、なぜそう思ったのかまで交流し
たい。

多様な関わり
を生かす学び



実体験を伴う活動的な学びの視点

☆過去の経験や体験活動、日常生活等を生かせる内容

☆自己に関連し、日常生活に生かせる内容

☆学校行事（自然体験、平和学習、環境学習など含）と学習をつなげる

☆地域や社会に役立つ内容

☆地域や社会、世界での学びにつながる活動

☆自分が得た情報や学びを発信する活動

☆過去の自分を振り返ったり未来の自分へ思いを馳せたりする内容

実体験を伴う
活動的な学び

「見方・考え方」と関連させて子どもにとって魅力あるゴール設定を!

学んだことを実体験に活用する、実体験したことから課題が生まれる



授業イノベーション【授業イメージ編】

～習得した方法や視点等を子ども自ら活用する授業への変革～

授業の変革	授業イメージ
ティーチングから コーチングへ	・授業の中で教師が話をしすぎず、授業の7割は子どもたちが主体的に活動する時間になっている
「自分」に 合った学び	・子どもが自分の席を離れてでも自ら周囲と相談したり、教師に尋ねたり、自己選択した課題を追求したりする場がある ・子どもが課題や解決方法を選んだり、決定したりする場がある
多様な関わりを 生かす学び	・課題解決や目標・目的達成のために、意見交換したり話し合ったりする場がある ・話し合いを通して他者の意見を認めたり、自分の考えを深めたり広げたりする場がある
実体験を伴う 活動的な学び	・子どもの経験や体験活動、日常生活等を生かせる内容を取り入れている

授業イノベーション【教師の姿編】

～習得した方法や視点等を子ども自ら活用する授業への変革～

授業の変革	教師の姿
「自分」に合った学び	<ul style="list-style-type: none">・課題解決や目標・目的達成のため等、子ども一人一人にとって必要感のある課題を設定している・普段の授業の中で課題を自ら解決するための方法や視点、ツールの使い方等を習得させている
多様な関わりを生かす学び	<ul style="list-style-type: none">・課題解決や目標・目的達成のため等、子ども一人一人にとって必要感のある話合いの場を設定している・普段の授業の中で自ら考えを深めるための説明の仕方、質問の仕方、情報処理の仕方、まとめ方等のスキルを習得させている
実体験を伴う活動的な学び	<ul style="list-style-type: none">・子ども一人一人にとって必要感のある体験活動を設定している

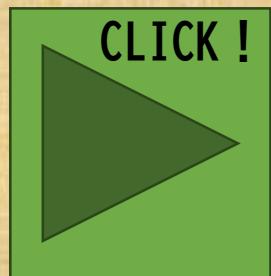
授業イノベーション【子どもが主役編】

～習得した方法や視点等を子ども自ら活用する授業への変革～

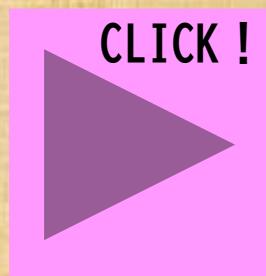
授業の変革	子どもの姿
「自分」に合った学び	<ul style="list-style-type: none">・一人一人が自分の課題や目的、目標を見出したり、それを追求したりしている・課題解決、目的・目標達成のために自ら方法や視点、ツール等を調整し、解決している
多様な関わりを生かす学び	<ul style="list-style-type: none">・一人一人が自分の課題解決、目的・目標達成のために、議論したり新しいものを作り出したりしている・自分の考えを深めるための説明の仕方、質問の仕方、情報処理の仕方、まとめ方等のスキルを使って解決している
実体験を伴う活動的な学び	<ul style="list-style-type: none">・活動や体験を通して過去の自分を振り返ったり未来の自分へ思いを馳せたりしている

教科のとびら

各教科の授業イノベーションでの視点での単元計画や教材を掲載しています。定期的にアップデートしていきます。



理科のとびら



英語のとびら



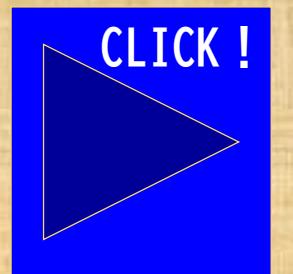
算数・数学のとびら



国語のとびら



社会のとびら



論文のとびら



名前 _____

【標準時数10時間】

目標

<ul style="list-style-type: none"> ・有性生殖と減数分裂のしくみが分かる ・遺伝に関する用語が分かる 「形質」「遺伝子」「減数分裂」「純系」「顕性と潜性」 □チェックテストで80点以上 ・「遺伝子」や「遺伝子」を利用したものを調べる □学習シートの提出 ・メンデルの行った実験でできた雑種第1代の遺伝子の組み合わせが分かる ・メンデルの行った実験でできた雑種第2代の遺伝子の組み合わせが分かる ・モデル実験でメンデルの行った実験を再現する □レポートを提出

学習の流れ

学習内容	教科書	学習シート	その他
1)無性生殖と有性生殖の遺伝子の伝わり方をまとめる	P95~97	①	
2)分離の法則について調べる	P102	②	
3)メンデルの実験で雑種第1代(子)の形質がすべて一方の形質になったことを「分離の法則」から説明する	P99,100 105	③	
4)メンデルの実験で雑種第2代(孫)の形質が3対1の割合で現れたことを「分離の法則」から説明する	P101,105	④	
5)モデル実験で雑種第2代(孫)の形質が3対1で現れることを説明する	P106	探Qシート	
□ レポートを先生に提出しよう(探Qシートを使いましょう)			
6)「遺伝子」や「遺伝子」を利用したものを調べる	P107	⑤	
□ 学習シートを先生に提出しよう			
7)脊椎動物の進化の道すじを、中間的な動物に注目して調べる	P109,110, 111	⑥	
8)ほ乳類の相同器官について前足のつくりに注目して調べる	P112	⑦	
9)生物の移り変わりと進化について調べる	P110~113	⑧	
□ チェックテストを先生に提出しよう			
ここまでは必ず全員がクリアしよう!			
発展課題	□「ACTIVE10」の「もっと探究」を分離の法則を用いて解き明かせ!		
	□「スイートコーン」の白い粒と黄色い粒は何対何?		
	□「ヒメダカ」と「クロメダカ」を交配してみよう!		
	□「ヒト」の血液型の遺伝の規則性を調べよう!		
	□「鳥の手羽先」を使って、骨格を観察しよう!		

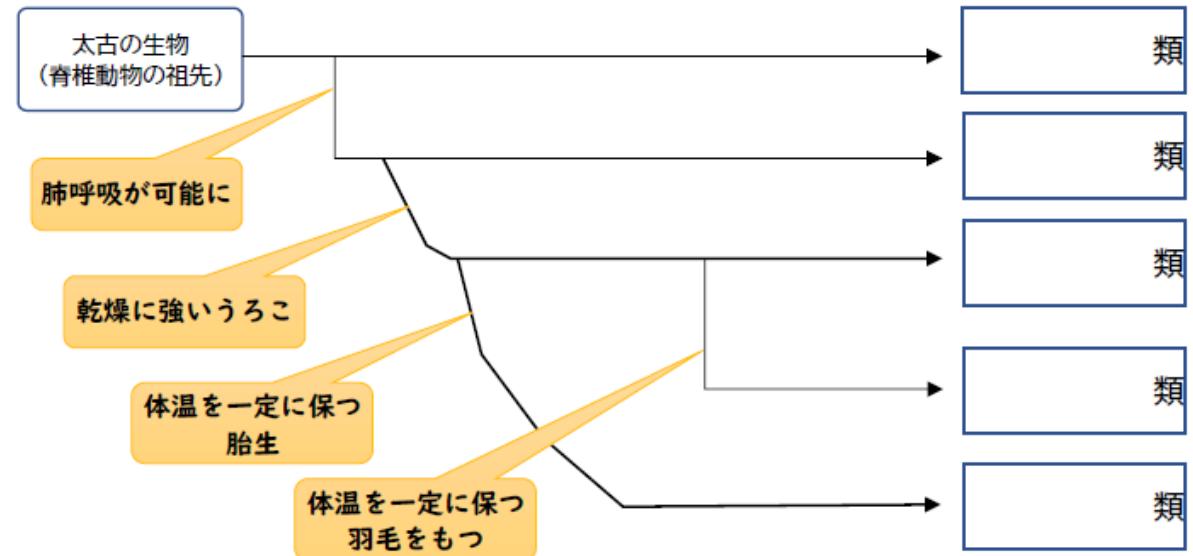
氏名 _____

単元 「遺伝と進化」

時間	日付	学習計画	実際	振り返り
		学習のてびきを参考に1時間でやることを計画しよう	1時間で実際にやったことを記入しよう	よかったこと・悪かったこと・分かったこと・次時に向けてどうするかなどを記入しよう
1	/ ()			
2	/ ()			
3	/ ()			
4	/ ()			
	/ ()			

2 地球上の多様な生物はどのように進化してきたのだろうか
教科書の本文や、インターネット等を調べてみよう

① 下の図は、脊椎動物の進化の流れを模式的に表したものです。吹き出しをヒントに四角の中に何類が入るだろうか?書き込んでみよう。



② 上の脊椎動物の進化の流れを参考に、植物の進化の流れをまとめてみよう



授業イノベーション単元計画（例：中学英語）

単元について

本単元では、来日したばかりのALTのロンデル先生に、日本の学校生活を紹介することを最終ゴールとしている。教科書本文で、アメリカの学校生活について紹介されていることから、日本の学校生活との違いを捉え、異文化理解を深めるとともに、他国への興味関心を高めさせたい。また、日本の学校生活を紹介するためにはどのような表現を使ったらいいのか、グループで考え、互いの意見を伝えながら、よりよい文章や表現を導き出すことを目標とする。新出言語材料の現在進行形だけでなく、既習事項の文法を用いて、文章を練り上げさせたい。

① 「自分」に合った学び

日本の学校生活の紹介に向けて、最初に生徒が個々に自分でテーマ（授業、給食、制服など）を見つけ、それに向けて自分自身が選択した方法（クロームブック、書籍、インタビューなど）を用いて紹介文を考える。考える過程において、その背景になる文化についても学べるように支援していく。

② 多様な関りを生かす学び

日本の学校生活の紹介に向けて、個別最適な学びを通して作成した英文をもちより、各班で協働的に練り上げる。リーダーを中心としたグループワークでの「学び合い」のスタイルを取り入れ、相互交流を図る。1人で作成した英文は不十分であるがグループの中で改善し合うことで、間違えることへの不安感を減らすだけでなく、その班独自の創意工夫ができるため、内容面と言語面の幅などを広げることができる。グループでの改善点などをクラス全体に返すことで、生徒たち自身で考え、より内容を深めることができる機会を設ける。

③ 実体験を伴う活動的な学び

実際に練り上げた紹介文が本当にALTに言語面で伝わるか、内容面にALTは満足し、日本の学校生活について理解するのかを動画の返信から学ぶ。本来であれば直接ALTと対話できればよかったが、ALTの勤務の都合もあり、動画撮影、送信、ALTから返信という方法で生徒たちに実体験を伴う学びを経験させる。

単元名 わたしたちのまちの魅力を伝えよう←

教材名 Unit8 This is my town. 『Here We Go!5』 光村図書←

研究主題を受けて、目指す子どもの姿は「他者と話し合って解決したいと思う◎（学習課題）を、他者の多様な考えを受け入れ、異なる考えを組み合わせたりよりよい考えを生み出したりしながら、自分で学習を調整し、解決していく子ども」である。その具現に向け、以下のような学習活動の工夫を行う。←

① 「自分」に合った学び（自分で学習を調整する「個別最適な学び」）←

本単元の学習課題とこれまでの既習知識、自分の興味を比べて吟味し、自分が伝えたい長岡の魅力を選ばせる。児童の思いをもとにグルーピングを行いたい。何が長岡の魅力なのか、魅力を伝えるために英語をどのように用いていくかについて考えをめぐらせていく。←

また、自分の意見をまとめたり、紹介の資料を作成したりする際に ICT を活用する。（オクリンクプラス）写真や文面を取り込んだり、自分なりの言葉で入力したりと、自分でまとめ方を選ぶなど、自分で学習を調整できるようにする。←

② 多様なかかわりを生かす学び（よりよい考えを構築していく「つなぐ話し合い」）←

班での考えを共有したり、意見の違いを視覚化したりするために、ICT を活用する。オクリンクプラスを使うと、友達の考えや情報を一目で共有することができる視覚的に見やすい良さがある。また、知りたいことをすぐに調べたりして話し合いの内容に応じて、様々な使い方をすることができる。←

相手意識や目的意識をもち、よりよい紹介を仲間と練り上げていくという意欲をもたせるために、実際の ALI との関わりを設定する。「よりよい紹介とは何か」の話し合いの視点を提示したり、自分と仲間の考えを比べ、条件や優先順位を考えたりするなどして意見をまとめながら話し合う力を育む。←

③ 実体験を伴う活動的な学び（他者と話し合って解決したいと思う学習課題◎の設定）←

子どもの考えのズレを生むはたらきかけや、2つの異なるモデルを提示して比較させるなど、課題提示の仕方を工夫することで、子どもが自ら追求したいと思う学習課題を設定する。また、実際の外国の人に伝えるというゴールを設定し、英語で話す必然性を設定する。←

本単元では、長岡に着任したばかりの ALI から、「長岡のことを教えてほしい」との働きかけを受け、児童の課題意識を高める。これまでの総合的な学習の時間「ふるさと大島」などの学習から、長岡の魅力について1年生から系統的に学んできている。自分の知っている長岡の魅力についての深い知識と、初めての人に伝える際の分かりやすさとのズレを作ることで、情報を吟味したり伝える言葉を精選したりする姿を育てていく。←



算数ステップアップタイム 学習の進め方フローチャート

スタート

「できるようにになったこと問題」どうだった？

ちょっと難しかった～

まあまあできたよ

すらすらできた！

学習スタイルを選ぼう

誰と学習する？

・一人で・友達と・先生と

どこで学習する？

・一人席

・グループ席

苦手なところを
再チャレンジコース

習ったことを
完ぺきコース

難しい問題に
挑戦コース

先生と相談してコースを
決めたい！

- ・プリント好きなどころから
- ・ステップアッププリントの続き
- ・ドリルパーク
- ・教科書問題「できるようにになったこと」もう1回

- ・プリント完全制覇
- ・ステップアッププリント完全制覇
- ・教科書問題「もっと算数」もう1回

・難問プリント

難しいけど、
面白い問題だよ！

・先生からの
プログラミングミッション

難問ミッションをきみは解決できるか？！

相談しましょう

← 前のページ

← もどる

実体験を伴う活動的な学び(算数・数学)

3 算数と社会の関わりを深めたい

算数は使える! 「算数をつかって」

算数の学びの中で身につけた力は、算数の授業の中で使えるだけでなく、社会へと広がっていく力になります。算数を使ってさまざまな問題に取り組む課題を扱うことで、学びに向かう力を育み、子どもたちの人間性をより豊かなものにすることができるようにしています。

SDGs マーク

各課題では、SDGsのどの目標について考えていくかわかるように、マークを示して、さまざまな目標に対して問題意識をもちながら学びを進めています。

今の自分を知らう!

各課題において、パフォーマンス評価の形で自己評価ができるように設定しています。

「算数をつかって」一覧

学年	学期	ページ	内容	SDGs
1	1	上 p.70-71	たしざんやひきざんのおはなしをつくらう	4・5
	2	下 p.40-41	なにももっていけばよいかがえよう	11・13
	3	下 p.82-84	たべものむだにしないようにしよう	2・12
2	1	上 p.120-121	重を完気にのりまろう!	3・4
	2	下 p.58-59	「せつ水」について考えよう	6・14
	3	下 p.116-118	日本でむかしからつかわれているもようをしらべてみよう	9・12
3	1	上 p.100-101	交通系こに気をつけよう	3・11
	2	下 p.70-71	生き物について考えよう	14・15
	3	下 p.146-148	正しく分けてゴミをへらそう!	12・13
4	1	上 p.110-111	プラスチックのゴミについて考えよう	12・14
	2	下 p.76-77	日本の森林について考えよう	11・15
	3	下 p.156-158	バスのバリアフリーを考えよう	10・16
5	1	上 p.130-131	食べ物から環境を考えよう	2・12
	2	下 p.88-89	外来生物について考えよう	14・15
	3	下 p.152-154	タイヤの材料について考えよう	7・11
6	1	p.104-105	デジタル・シティズンシップを身につけよう	9・16
	2	p.210-211	バランスのよい食事を考えよう	2・3
	3	p.228-230	ハザードマップを見てみよう	11

PICK UP ここに注目!

「算数をつかって」は、ただ単に課題を解決するだけでなく、さまざまな教育課題にも対応したページとなっています。6年間を通じて、課題に取り組みながら、算数の力を伸ばすとともに、子どもたちの社会に対する意識にも働きかけることができます。

「算数をつかって」

安全・防災教育、キャリア教育、道徳教育、情報教育、環境問題、国際理解、伝統文化

もっと詳しく! → p.34, 35

学校図書 「みんなと学ぶ」小学校算数 内容解説資料より

詳しく見る (デジタルブック) 

 **詳しく見る** (デジタルブック)

学びに向かう力につながる

数学が身のまわりなどで役立つことを実感できるコラムを掲載することで、学びに向かう意欲を喚起するようにしています。

NEW 算数の「役立つ数学」では、各章で学んだ数学がどんなところで役立っているかをコラムで紹介し、学習に対する意欲を高めることができます。

電子レンジでの加熱時間

【1年 P163】

1年 コンピュータサイエンティスト 佐吉和恵さん

2年 コパイライター 佐々木圭一さん

3年 独立時計師 菊野昌宏さん

数学の力 数学の発想で見つけた、伝え方の法則

数学の発想で見つけた、伝え方の法則

数学の発想で見つけた、伝え方の法則

【2年 巻頭紙】

関連する雑誌「仕事」は、マークを付けて一目でわかるようにしています。

学校図書 中学校数学 内容解説資料より



「自分」に合った学び『課題や目標設定』の選択を取り入れた単元構想（例）

※「学習の手引き」としては、ステップ2～発展課題の部分を基に作成する。

★単元のゴール

世界の様々な民話を読んで、その面白さを紹介するレポートを作り、図書室の特設コーナーに掲示しよう。

★ステップ1（並行読書：世界の民話を読む。）

●学習課題を理解しよう（全体学習2時間）

- 知っている民話や昔話について伝え合う
- 単元のゴールについて理解し、そのために「三年とうげ」を読むという目的をもつ。
- 「三年とうげ」を通読し基本設定を理解する。
- 「三年とうげ」の面白さの秘密を探るための読みの観点について話し合う。
- 教師が作成した「学習の手引き」を読み、コースを選択する等、これからの学習の見通しをもつ。

★ステップ2

●「三年とうげ」のおもしろさの秘密を探ろう

3つのコースから選んで学習を進めよう。（自己選択学習4時間）

A 登場人物コース	B 構成コース	C 表現コース
登場人物の「人物像」から、面白さの秘密を探るコース	物語の「構成」から、面白さの秘密を探るコース	「言葉や文の表し方」から面白さの秘密を探るコース
次の2つは自己選択学習が始まる前に家庭学習で行う。		
① 「三年とうげ」で自分が分からない言葉の意味調べ（国語辞典を使って調べる。）		
② 「三年とうげ」に出てくる物で知らないものを写真で見る。（インターネットで調べる。）		
<p>①「おじいさんは、どんな性格の人物か」</p> <p><input type="checkbox"/>おじいさんの人物像が分かる部分を、文章から抜き出す。</p> <p><input type="checkbox"/>抜き出した文や言葉をもとに、人物像を書く。</p>	<p>①「おじいさんの気持ちは、始めと終わりでどう変わったか」</p> <p><input type="checkbox"/>おじいさんの気持ちは分かる部分を、文章から抜き出す。</p> <p><input type="checkbox"/>おじいさんの気持ちの変化が分かるようにまとめる。</p>	<p>①「言葉の使い方が面白い部分や、文の調子のよい部分はどこか」</p> <p><input type="checkbox"/>言葉の使い方が面白い部分や文の調子がよい部分を抜き出す。</p> <p>→行動や様子を表す言葉に注目</p> <p>→声に出して読んだ時にリズムのよいところに注目</p>
<p>②「トルトリは、どんな性格の人物か」</p> <p><input type="checkbox"/>トルトリの人物像が分かる部分を、文章から抜き出す。</p> <p><input type="checkbox"/>抜き出した文や言葉をもとに、人物像を書く。</p>	<p>②「おじいさんの気持ちははじめと終わりで変わったのは、なぜか」</p> <p><input type="checkbox"/>おじいさんの気持ちが大きく変わるきっかけとなった言葉や文を、文章から抜き出す。</p> <p><input type="checkbox"/>きっかけ（理由）が分かるようにまとめる。</p>	<p><input type="checkbox"/>なぜそれらが面白いのか書く。</p> <p>→リズム</p> <p>→擬音語・擬態語</p> <p>→繰り返し など</p>
<p>③「おじいさんとトルトリの似ている部分と違う部分はどこか」</p> <p><input type="checkbox"/>二人の人物像を比べて相違点を探して書く。</p>	<p>③「『三年とうげ』は読者に何を伝えたいのだろうか」</p> <p><input type="checkbox"/>この作品から伝えることを考えて書く。</p>	
<p>④「三年とうげのお話はどんなところが面白いのだろうか」</p> <p><input type="checkbox"/>①～③で分かったことをもとに、面白さの秘密（理由）をまとめる。</p>	<p>④「三年とうげのお話はどんなところが面白いのだろうか」</p> <p><input type="checkbox"/>①～③で分かったことをもとに、面白さの秘密（理由）をまとめる。</p>	<p>②「三年とうげのお話はどんなところが面白いのだろうか」</p> <p><input type="checkbox"/>①で分かったことをもとに、面白さの秘密（理由）をまとめる。</p> <p>→言葉や文の面白さは、お話の面白さと関係があるのか。</p> <p>→もし表現の工夫がなかったら、このお話は面白いのか。</p>

●三年とうげの面白さの秘密を研究レポートにまとめよう。（全体学習1時間）

タブレット PCで作成するか、手書きシートで作成するか選択する。

●「三年とうげ」の面白さの秘密について、学習したことをみんなで共有しよう。（全体学習1時間）

★ステップ3

●世界の民話を読んで、面白さを紹介しよう（個別学習2時間）

紹介する民話の選択と追求方法（コース）の選択を行い、図書室に掲示するレポートを作成する。



★ステップ2-2 (発展課題)

◇なぜ「三年とうげ」という題名なのだろうか。

- なぜこのとうげには、「転ぶと三年しか生きられない」という言い伝えがのこっているのかを考え、理由を書く。
- 言い伝えは必要なのか。それともなくてもいいのか。そもそも言い伝えは何のためにあるのかを考えて書く。



◇1の場面は、この話に必要なのだろうか。

- 1の場面は、おじいさんもトルトリも出てきません。この場面はあるのかいないのかを考えて書く。



◇この話の最後の文（「ところで…歌ったのは、だれだったのでしょうか。」）は、必要なのだろうか。それとも、この文はなくてもよいのだろうか。

- 「…だれだったのでしょうか。」と言っているのは語り手（ナレーター）であることから考えて、自分の考えと理由を書く。



◇三年とうげの言い伝えは、その後も残ったのだろうか。

- おじいさんの病気が治った後も、「転ぶと三年しか生きられない」という言い伝えはこの村に残ったのだろうか。また、それはなぜだろうか。物語の後話を想像して書く。



◇この話に出てくる歌や、言葉・文で面白いところの音読の仕方を考えよう。

- 実際に音読して、その様子を録音し、オクリンクで提出する。

◇朝鮮の文化について調べよう。

- 昔の朝鮮の建物、道具、髪型、服装などについて調べ、挿絵と比べる。
検索の例：建物→オンドル 道具→チゲ、バージゲ、チプシン、チャンスン、チャンゴ
髪型→タンモリ、サントウ、ナンジャ 服装→チョゴリ、パヂ、チマ

◇自分が選択したコースとは別のコースの学習に取り組もう。

- 全ての課題ではなく、自分ができそうな課題を選んで取り組む。



マークがあるところは、友達と考えを交流しながら学習しましょう。
(もちろん、マークがなくても友達といっしょに考えてよい。)

1 単元構想イメージ

<p>1次</p>	<p>課題把握段階</p>	<p>【実際の学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く学習課題(単貫課題)の確認。 ・何を理解すればよいかの確認。 ・課題に対する現段階での自分の考えを出す。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">一斉</div>
<p>2次</p>	<p>課題追究段階 (知識獲得段階)</p>	<p>【実際の学習内容】</p> <p>①ワンペーパーポートフォリオ(OPP)に単貫課題に関連しそうなことをまとめる。 単貫課題に関連しそうなことをまとめる。</p> <p>②自分の学び方を振り返る。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; color: blue; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">複線型3時間</div>
<p>3次</p>	<p>課題解決段階</p>	<p>【実際の学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの情報をもとに自分の考えをまとめる。 ・他者との対話でよりよい自分の考えを模索する。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">一斉</div>

2 授業の実際

(1) 学習課題「北海道のキャッチフレーズ」を考える生徒

「北海道の魅力を伝える最適なキャッチフレーズはどのようなものか」という学級の学習課題を設定した。そこで、「北海道のどんなことがわかれば、課題解決できそうか」と問うと、「北海道の自然、産業、食、観光スポット」といった声が聞かれた。

(2) 学習課題の解決に向けて情報収集に取り組む生徒

宗實氏は北氏の提唱する「学習の複線化」を成功させるポイントとして、①学習の「何を」複線化するのか。②学習過程の「どこを」複線化するのか。③子どもたちの技能はどのように身につけているか。という点をあげている(宗實2023)。これらを参考に、①「学習方法(調べ方)」「学習の資料」、②「追究活動」「まとめる場面」を複線化し、③教材や学習活動を生徒が自ら選択し、諸資料を取捨選択して、調べたことを情報交換し合い、自分なりの考えを深められるように授業を進めた。

具体的な実践として、共通の学習課題を確認後、自分たちで調べる追究活動の時間を3時間設定した。3時間のうちに該当する北海道地方の教科書を中心に、資料集、場合によってはインターネットを駆使して自分なりのキャッチフレーズを考えられるようにした。もちろん、生徒が教科書を読んでわからない点は教師が補足したり、場合によっては一斉指導で教科書や資料集の内容を確認したりした。しかし、基本的には個別に学習をしたり、必要であれば他者との対話もしたりして追究活動を進めさせた。そして、各授業の終わりには、本時の学びとキャッチフレーズに関連しそうな語句をワンペーパーポートフォリオ(以下、OPPと表記する)にまとめるよう指示を出した。

追究活動では、生徒は教科書を中心に、必要に応じて資料集やインターネットを活用して情報収集を行っていた。また、ノートに情報をまとめるだけでなく、教科書に直接書き込みを行うなど、自分に合ったまとめ方を選んでいた。教科書や資料集で意味のつかめない語句があったときや、自分のまとめ方に自信のもてない時は、他者や教師との対話を積極的に行っていた。個別最適な学びをめざしていたが、協働的な学びと一体となることで考えを深めていけたと感じる。図1は、最終的に生徒AがまとめたOPPとキャッチフレーズである。記述を確認すると、学習課題であるキャッチフレーズを考えながら、北海道の地理的特色の内容理解ができていることがわかる。また、教師の説明や他者との対話を通して、情報の取捨選択を行い、学びの自己調整ができていることを自覚している。これらの姿が見られたのは、学級で共通する学習課題をもち、学習の複線化による自己選択の機会が与えられたことによると考える。

3 おわりに

多様性が尊重される現代社会では、個別最適な学びが重要になることは多くの教師が納得することだと考える。しかし、これは自戒を込めてであるが、ともすると自己選択、自己決定をしていれば個別最適な学びになっていると満足しがちである。より大切なのは、児童生徒が教師の手を離れても、学びの自己調整を行い、生徒の社会科に対する内容理解や見方・考え方を働かせられるよう促すことだと考える。宗實氏は個別最適な学びの上位目標として、「子どもが自己選択・自己決定しながら自立的な学びを進めること」。「その教科「らしさ」を考えつつ、そこにその子「らしさ」が顕れるように意識することが重要」(宗實・椎井2024)だと述べており、激しく共感する。私の実践はまだまだ未熟であるが、よりよい個別最適な学びを追究し続けたい。そして、お読みになった先生方にとって、何かしらの参考になれば幸いである。

(※本原稿は、教師の“知恵”.net「教師の知恵ぶくろNo.811」を加除修正したものである。原典：<http://www.udkansai.net/24-11-09-811/oda.pdf>)

【参考文献】

北俊夫編著『個を生かす社会科「学習の複線化」事典』1996年、明治図書

文部科学省『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』2021年

宗實直樹『社会科「個別最適な学び」授業デザイン 理論編』2023年、明治図書

宗實直樹・椎井慎太郎編著『社会科「個別最適な学び」授業デザイン 事例編』2024年、明治図書

		単貫課題の予想		単貫課題を明らかにするために何を知る必要があるか。
3月8日(金)	単貫課題の確認・予想	大雪にも負けず、進め農業		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境 ・産業の様子(特産品) ・文化 ・国際的な交流
		理解度 (100%)	単貫課題に関連しそうなこと	振り返り(わかったこと、これから考えたいと思ったこと)
3月8日(金)	①開拓の歴史が新しい地域	80	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族 ・山地 ・火山 ・開拓使 ・屯田兵 	<p>新たに北海道地域の単元に入ったが、今回の授業では単貫課題のキャッチフレーズ作りについて大まかなイメージを持つことができた。私は北海道地方というと、降雪量が多く、農業や漁業が盛んな印象があり、割と新潟に近いのではないかと考えている。また、北海道全体の地図を見ると山が多くあり、気候に大きく影響していると感じた。そして、他にも重要なのはアイヌ民族で、現在の言葉など、アイヌ民族が影響している部分はとても大きい。</p> <p>今回全体的に見てみて、重要なのはやはり山地の多さとアイヌ民族だと思った。だから、この二つの詳しい関り、そして産業や文化についてこれから調べていきたい。</p>
3月11日(月)	②長く厳しい冬の暮らし ③大規模化する農業	90	<ul style="list-style-type: none"> ・冷帯(亜寒帯) ・流氷 ・濃霧 ・稲作(石狩平野) ・畑作(十勝平野) ・酪農(根釧台地) 	<p>今回の授業を通して、北海道の自然の厳しさや農業についてよく分かった。北海道は日本の中でも唯一冷帯に属していて、濃霧が発生する他、流氷も見ることができる。かなり厳しい環境ではあるが、二重窓やロードヒーティングなどの工夫を施して暮らしているらしい。また、元から農業の盛んなイメージがあった北海道だが、稲作、畑作、酪農の全てが発展していることを知って驚いた。今回自然環境について学べたので、キャッチフレーズには、特に印象的だった『日本で体験できる亜寒帯』『大規模すぎる農業』の要素を入れられたらと思う。</p>
3月12日(火)	④「とる漁業」から「育てる漁業」へ ⑤豊かな自然と観光	80	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業(海産物) ・雪 ・豊かな自然 ・観光 	<p>今回の授業を通して、北海道の漁業の流れや観光業について学ぶことができた。北海道はかつて、さけやますなどの北洋漁業でにぎわっていたが、後に排他的経済水域が定められたことで、段々と衰退してしまっただろう。そういったこともあり、現在は栽培漁業や養殖に力を入れているようだ。また、北海道ならではの雪を活かした『さっぽろ雪まつり』や、自然と触れ合う『エコツアー』などを開催しており、他の国からも多くの観光客を集めている。</p> <p>これで北海道について一通り知ることができたので、あとは本当に伝えたい特徴を絞り、印象に残るキャッチフレーズを作りたい。</p>

		単賞課題に対する結論	結論の根拠
	単賞課題に対する自分の考え	「米も魚も眠ってる 白い大地へさあ一歩！」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で唯一の亜寒帯であり、降雪量がとても多い。 ・広い大地を活かした、稲作、畑作、酪農など農業が盛んだからです。また、漁業(養殖)にも力を入れている点がアピールできると考えたからです。
3月13日(水)	<p>振り返り</p> <p>①この単元で学んだこと、これから更に考えてみたいと思ったこと。</p> <p>②単賞課題を明らかにするうえで、自分の学びや他者との関わりはどうだったか。</p> <p>①この単元では、北海道が厳しい自然環境に置かれながらも、工夫をすることで産業、観光業を発展させていることが分かった。例えば、この寒冷な気候を利用した『流氷ツアー』や、雪を活かした『さっぽろ雪まつり』などがあげられる。また、観光業以外にも、広い土地を活かした農業や時代に合わせて変化する漁業などがあるだろう。このように北海道は、環境の強みを生かした取り組みをしている。今回は主に自然環境と関わる面から見ていき、様々な発見を得られた。なので、もし機会があれば、発展しているイメージのある札幌や函館ではどのような工業を行っているのかも調べてみたい。</p> <p>②前回、自分は分布という面をあまり意識できていなかった。なので、今回は意識して、広がりについて考えつつ教科書の情報を取り入れられたと思う。(どこで何が行われているのかを目で分かるよう教科書に描いてみたり)そして、一つ一つ言葉に根拠をもつことで、何か聞かれたときスムーズに受け答えできるようにしていた。また、説明を聞いているうちから重要なポイントをメモすることで、まとめの取捨選択が上手くできたので、これからも続けていきたいと思う。</p>		

